5　種子島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア　河川

本地域の２級河川は，郡川，鹿鳴川，向井川，阿嶽川，湊川等13河川がある。これらの河川はいずれも流路が短く，短時間に多量の雨が降れば急激に増水氾濫し，度々人家・耕地等に大規模な被害をもたらしてきた。このため，緊急性の高い箇所から逐次，河川改修事業を実施し，災害防止に努めている。

郡川は平成７年度，鹿鳴川は平成10年度，川脇川は平成13年度までに改修を完了している。

湊川の中流部については平成13年度までに完了し，湊川の上流部は平成13年度から改修事業を実施中である。また，甲女川は平成4年度から改修事業を実施中である。

市町村が管理する準用河川は焼野川（南種子町），浜川（中種子町）等があり，焼野川は平成13年度，浜川は平成21年度に改修を完了している。

イ　砂防

種子島の中部から南部にかけては，砂岩，泥岩からなる段丘台地が開けており，この台地から数本の河川が下り，海岸近くにはかなりの平野を造りあげている。これらの地区においては，河川の蛇行が大きく，破壊しやすい土質も加わって，一度に多量の降雨に見舞われると，台地からの土砂流出等による災害が発生しやすく被害も大きい。

このため，災害を未然に防止し，人家耕地等の保全を図るため，御牧の小川等での通常砂防事業や田代の小川等での総合流域防災事業（砂防）により堰堤工，渓流保全工等を，また河内地区においては地すべり対策事業により集水井工やアンカー工等を実施し，土砂災害の未然防止に努めた。

ウ　治山

本地域は台風の常襲地帯であることや冬季の季節風時の波浪も激しいことから，海岸線における防災林の造成及び山地治山事業等を実施している。

(2) 交通基盤の整備

ア　道路

本地域は，西之表港から中種子町野間を経て南種子町島間港まで種子島を南北に縦断する主要幹線道路の国道58号や，新種子島空港と重要港湾西之表港とを結ぶ主要地方道野間十三番西之表線，島の東岸を走る西之表南種子線の主要地方道の２路線，野間島間港線等の一般県道７路線により道路網を形成している。

国道については，これまでの整備の結果，改良率は100.0％となっている。

県道については，これまでの整備の結果，改良率は96.5％となっており県全体の県道の改良率82.4％を上回っているが，野間島間港線や国上安納線は未改良区間が残っており，西之表南種子線については急カーブや幅員狭小箇所等があるため，整備を進めているところである。その他の路線についても，種子島においては幹線となる道路網を形成しているため，計画的な整備を進めていくこととしている。

また，市町道については，主な整備路線として，１級市道安城平松線，その他市道西町上之原線，２級町道広野中之町線，２級町道宇都浦線，その他町道新栄町焼野線等がある。住民に密接する生活路線として整備を進め，隘路区間の解消を図っている。

道路現況（平成28年度末）　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：ｍ，％）

区　　分	実延長Ａ	規格改良済延長Ｂ	うち5.5m以上Ｃ	改良率B/A	5.5m以上改良率C/A	舗装延長Ｄ	舗装率Ｄ／Ａ
一般国道	48,915	48,915	48,743	100.0	99.6	48,915	100.0
主要地方道	108,033	103,785	96,285	96.0	89.1	108,033	100.0
一般県道	66,389	64,653	57,239	97.3	89.2	66,389	100.0
県 道 計	174,422	168,438	155,524	96.5	89.1	174,422	100.0
国 県 道 計	223,337	217,353	204,267	97.3	91.4	223,337	100.0
市 町 村 道	820,807	573,857	262,982	69.9	32.0	744,287	90.6
道　路　計	1,044,144	791,210	467,249	75.7	44.7	967,624	92.6

出典：平成29年度道路現況調書(平成29年４月１日現在)

イ　街路

良好・快適な都市環境を確保するため，都市の骨格をなす基幹施設である街路の整備に努めてきた結果，平成28年度末で整備率が93.4%となっている。

ウ　港湾

本地域の港湾は，重要港湾として西之表港，地方港湾として田之脇港，浜津脇港，島間港の県管理港湾４港のほか，種子島に伊関港，増田港，田尻港等13港，馬毛島に椎ノ木港等３港の市町村管理港湾がある。

種子島の玄関港である西之表港は，昭和28年度に改修事業に着手し，昭和35年７月に重要港湾に指定された。西之表港港湾計画に基づき，熊毛地域の人流・物流の拠点港として賑わいと潤いのある空間づくりを図るため防波堤改良，岸壁等の整備を進めており，平成20年3月に暫定-7.5mとして供用開始した岸壁(-9.0m)は，より安全な接岸を可能とするための延伸工事（水深９m，延伸260m）が平成25年に完了した。現在は，防波堤改良や岸壁等の老朽化対策を進めている。

田之脇港は，種子島の東海岸に位置し，昭和50年度から改修事業を進め，平成10年度までに岸壁，物揚場，船揚場等が完成し，その後，平成12年度までに防砂堤等の外郭施設を整備し終了した。現在は，施設の維持補修等を進めている。

浜津脇港は，種子島のほぼ中央部に位置し，昭和34年度から改修事業を進めており，平成20年度までに防波堤改良等の外郭施設を整備し終了した。

島間港は，種子島南部に位置し，昭和31年度から改修事業を行い，屋久島とを結ぶ定期船の寄港港として，また，建設資材，生活雑貨等の搬出入港として防波堤，岸壁，物揚場，道路，船揚場等の整備を進めてきた。また，種子島宇宙センターのロケット機材搬入港としても重要な役割を果たしており，現在は，港内静穏度向上のため防波堤の整備を進めている。

市町村管理港湾については，田尻港で改修事業にて防波堤の整備を実施し，平成16年度に終了した。

港湾の整備状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：m）

港湾名	種別 管理者	平成24年度末						平成29年度末					
		岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及びバース数	岸壁		物揚場		防波堤	接岸能力及びバース数
		水深	延長	水深	延長			水深	延長	水深	延長		
西之表	重要 県	-9.0 -7.5 -5.5	180 130 500	-4.0 -3.0 -2.0	270 172 657	2,914	10,000 G/T (暫定) 1B 5,000 D/W 1B 2,000 D/W 5B	-9.0 -7.5 -5.5	260 130 500	-4.0 -3.0 -2.0	270 172 657	2,914	10,000 G/T (暫定) 1B 5,000 D/W 1B 2,000 D/W 5B
田之脇	地方 県	-5.5	90	-2.0	170	530	2,000D/W 1B	-5.5	90	-2.0	170	530	2,000D/W 1B
浜津脇		-5.5	90	-2.0	120	1,130	2,000D/W 1B	-5.5	90	-2.0	120	1,130	2,000D/W 1B
島　間		-7.5 -5.5	220 380	-4.0 -2.0	100 130	1,002	10,000G/T 1B 2,000G/T 2B 2,000D/W 2B	-7.5 -5.5	220 380	-4.0 -2.0	100 130	1,082	10,000G/T 1B 2,000G/T 2B 2,000D/W 2B

エ　空港

種子島空港は，旧空港が昭和37年７月に滑走路1,100mで供用開始し，その後，滑走路の延長やエプロンの拡張等がなされ，1,500mの滑走路を有する空港として利用されてきたが，平成18年３月にジェット機の就航可能な2,000mの滑走路を有する新空港として開港した。

現在，種子島～鹿児島に１日４往復，期間限定で種子島～大阪便が運航されるほか，チャーター便によるジェット機の利用がある。

(3)　産業基盤の整備

ア　農業農村整備

本地域は温暖な気候と平坦な畑地に恵まれ，さとうきび，さつまいも等の畑作物，肉用牛生産，酪農等の畜産に加え，早出し産地としてのばれいしょや豆類等の野菜，レザーリーフファンやキク類等の花き，たんかんやマンゴーなどの果樹，米，茶，葉たばこ等の生産振興が図られている。

生産性の向上と農業経営の安定及び近代化を図るため，農地環境整備事業によるほ場整備のほか，農地整備事業（通作・畑網）による農道網の整備，農村地域防災減災事業による排水路整備等を実施した。

また，畑地帯総合整備事業で整備した畑地かんがい施設の老朽化による機能低下が見受けられるため，畑地帯総合整備事業により施設の補修・更新を実施している。

農業生産基盤の整備状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：ha，km，％）

区分	ほ場整備			農道整備			畑地かんがい			かんがい排水		
	要整備面積	整備済面積	整備率	要整備延長	整備済延長	整備率	要整備面積	整備済面積	整備率	要整備面積	整備済面積	整備率
平成24年度末	7，100	3，761	53.0	1，400	903	64.5	3，800	888	23.4	1，730	739	42.7
平成29年度末	7，100	3，821	53.8	1，400	949	67.8	3，800	888	23.4	1，730	775	44.8

出典：市町村整備水準調査結果（平成30年３月31日現在）

イ　草地開発等

平成22～27年度にかけて種子島第２地区，平成28～29年度にかけて種子屋久第１地区において，草地畜産基盤整備事業（県事業名：畜産基盤再編総合整備事業）を実施し，草地・飼料畑，畜舎等の造成整備を行い，自給飼料確保を図った。

ウ　造林

本地域の森林面積は，24，145haで，約９割が民有林，約１割が国有林である。

民有林については，スギ・ヒノキを主体とした人工林が約35％，広葉樹を主体とした天然林が約60％を占める。

これまで造成された人工林については，下刈・除間伐等保育を中心に施業を実施し，地域内森林の水源かん養，土砂流出防止等の機能の向上が図られた。

エ　漁場

本地域は黒潮の影響とその海底形状から回遊性魚類や瀬物類の他，イセエビ等の根付資源等，比較的高級魚を対象とした漁船漁業が古くから営まれている。しかし，近年は，資源の減少等で漁家経営は厳しい状況が継続している。

このため，水産資源や漁獲量の維持・増大を図るため，２箇所に合計13，470空㎥メートルの魚礁を設置するとともに，カツオやマグロなど回遊性魚類を対象とする浮魚礁１基を整備した。

オ　漁港

種子島周辺海域は，トビウオ，キビナゴ等の好漁場に恵まれており，漁港及び関連施設の整備と相まって，水産業の振興は着実に進展している。

漁港については，漁業の拠点として，また避難港として重要な役割を果たしている住吉漁港（２種），浦田漁港（４種），熊野漁港（４種），庄司浦漁港（２種）の４港の県管理漁港のほか，種子島に13港の市町管理漁港があり，馬毛島に２港の市管理漁港がある。

漁港施設の老朽化とともに，更新を必要とする施設が増加していることから，熊野漁港で浮桟橋等の保全工事を実施しており，施設の長寿命化対策を推進している。

熊野漁港と浦田漁港では，今後，想定される大規模地震後に漁港機能の早期復旧を図るため，漁港施設の地震・津波に対する安定性を照査する機能診断を行っており，その結果に基づく耐震化工事等を推進していく必要がある。

主要漁港の整備状況　（単位：m，㎡）

漁港名	管理者	平成24年度末				平成29年度末			
		けい留施設		泊地	防波堤	けい留施設		泊地	防波堤
		水深	延長			水深	延長		
能野	西之表市	+0.5 −1.0 −1.5 −2.0	83 43 90 100	15,345	583.4	+0.5 −1.0 −1.5 −2.0	83 43 90 100	15,345	566.6
花里崎	西之表市	−1.0	40	2,550	231.5	−1.0	40	2,550	231.5
湊	〃	−2.0	248.4	19,853	691.9	−2.0	248.4	19,853	691.9
沖ケ浜田	〃	−1.5	18	5,413	251.6	−1.5	18	5,413	251.6
安城	〃	±0.0 −1.0	35 50	3,494	148	±0.0 −1.0	35 50	3,494	147.5
葉山	〃	−1.0 −1.5	50 40	3,500	57	−1.0 −1.5	50 40	3,500	57
高坊	〃	±1.3	40	1,958	170.5	+1.3	40	1,958	170.5
住吉	県	−2.0	334	26,773	379.8	−2.0	319	26,773	379.8
庄司浦	〃	−1.0 −1.5	50 75	11,834	297.2	−1.0 −1.5	50 75	11,834	297.2
浦田	〃	−2.0 −3.0	274.3 125	26,375	433.1	−2.0 −3.0	229.8 125	45,969	433.1
中山	中種子町	−2.0	30	4,030	253	−2.0	30	4,030	253
梶潟	〃	−1.0 −2.0	70 30	2,673	258.6	−1.0 −2.0	70 30	2,673	258.6
熊野	県	−2.0 −3.0	345 180	81,603	617.9	−2.0 −3.0	345 180	33,000	617.9
浜田	南種子町	−1.0 −2.0	130 75	14.374	237.9	−1.0 −2.0	130 75	14,374	237.9
竹崎	〃	−2.0	167.8	5,752	229.2	−2.0	167.8	5,120	229.2
下西目	〃	−1.0	58	1,529	334.2	−1.0	58	2,179	334.2
砂坂	〃	−2.0	136	8,790	437.6	−2.0	136	8,790	437.6
大川	〃	−2.0	75	8,315	324.2	−2.0	75	8,315	324.2
洲崎	〃	±0.0 −1.0	17 65	3,670	226.7	±0.0 −1.0	17 65	3,670	226.7

(4) 生活環境施設の整備

ア　簡易水道

本地域における西之表市では，未普及地域を解消するため，平成27年度から西之表市武部地区，深川地区，能野地区の水道施設の整備を行っている。

また，西之表市の全ての簡易水道事業の上水道事業への統合に併せ，遠隔監視システムの整備や国上地区の老朽管の更新などの施設整備を進めてきた。

中種子町では，中之町，向井町，戸畑，大塩屋地区において水質改善対策として平成26年度から29年度に中種子町簡易水道事業との事業統合に併せ水源新設などの統合整備を行った。

また，南種子町では，中央地区において平成26年度から水源枯渇及び水質悪化に対応するため，水源新設や浄水施設の整備などを行っている。

イ　公園

総合的な市街地の整備による都市機能の充実の一環として，地域住民のスポーツ，レクリエーションの需要増大に対処するとともに，憩いの場の提供を図るために，都市公園事業を促進している。

なお，種子島地域全体の１人当たりの公園面積は，平成23年度末と同様，平成28年度末の30.4㎡／人となっている。

(5) 離島振興事業による投資実績　(一括計上事業) (平成25～29年度)　(単位：千円)

区　分	事業費	国　費	県　費	市町村費	その他
河　川	867,686	415,553	452,133		
砂　防	541,050	266,648	274,402		
治　山	823,650	410,990	412,660		
港湾海岸	11,000	5,500	5,500		
漁港海岸	38,349	20,424	14,697	3,228	
道　路	3,207,939	2,148,914	678,035	380,990	
港　湾	5,594,386	3,982,269	1,487,818	124,299	
空　港	103,579	103,579			
水産基盤整備	952,310	492,907	457,915	1,488	
農業農村整備	6,312,934	3,608,282	1,762,392	777,395	164,865
造　林	638,856	195,287	95,072	42,767	305,730
公　園	144,468	72,234		72,234	
廃棄物処理	1,222,826	665,776	64,867	492,183	
簡易水道	1,260,706	630,353		630,353	
住　宅	168,856	41,268	47,874	79,714	
合　計	21,888,595	13,059,984	5.753,365	2,604,651	470,595

6　屋久島地域

(1) 国土保全施設の整備

ア　河川

屋久島の２級河川は，一湊川，永田川，栗生川，安房川等10河川があるが，そのほとんどの河川が急流を成し，雨量も非常に多く平地で4,000㎜，山頂部で10,000㎜を超すと言われており，洪水の危険も非常に大きいため，緊急度の高い箇所から逐次，河川改修事業を実施してきた。

一湊川・栗生川・安房川・志戸子川は平成４年度までに，永田川は平成11年度までに改修を完了している。

市町村が管理する準用河川は，長間川，江之川（上屋久町）等があり，それぞれ平成14年度までに改修を完了している。

イ　砂防

屋久島は，宮之浦岳をはじめとして，急峻な山岳からなり，降雨量も多く，また，河川は短小急流なため土砂流出による災害が発生しやすく，被害も大きい。

このため，西之川等での通常砂防事業や上叶川，熊太郎川等での総合流域防災事業（砂防）により，堰堤工，渓流保全工等を実施し，土砂災害の未然防止に努めた。

ウ　治山

本地域は，急峻な山岳からなり，降雨量も多いことから，荒廃山地と荒廃危険山地が多く，その整備が特に必要である。

このため，山地治山事業及び保安林整備事業等を実施し，災害の未然防止に努めている。

エ　海岸保全

本地域は，外海に位置し，台風常襲地帯であり，また季節風による波浪も激しく海岸の侵食が著しいことから，海岸事業の必要性が高い。

このため，背後地の保全目的に沿って,漁港海岸保全事業を実施している。

漁港海岸保全事業では，２漁港海岸において海岸保全施設の長寿命化計画を策定しており，平成30年度から口永良部漁港海岸において護岸の長寿命化対策を行うこととしている。

(2) 交通基盤の整備

ア　道路

本地域は，海岸沿いに島全体を一周する主要地方道上屋久屋久線と上屋久永田屋久線の２路線，及び屋久島の主要観光地であるヤクスギランドと安房地区を結ぶ一般県道屋久島公園安房線，安房から安房港までを結ぶ一般県道安房港線，白谷雲水峡と宮之浦地区を結ぶ一般県道白谷雲水峡宮之浦線の３路線により道路網を形成している。

県道については，これまでの整備の結果，改良率は87.6％となっており県全体の改良率82.4％を上回っているが，屋久島の主要観光地であるヤクスギランドへ通じる屋久島公園安房線や白谷雲水峡へ通じる白谷雲水峡宮之浦線は，観光客の増加に伴う大型バスなどの交通量の増加に加え，急カーブや幅員狭小区間が多いため整備を進めているところである。

また，主要地方道上屋久永田屋久線は島内西部の永田～瀬切間（9.4㎞，旧西部林道）が未改良として残っているが，当区間は平成５年に世界自然遺産に登録された地域であり，その整備に当たっては，平成９年度に設置した屋久島一周道路整備検討委員会から提言をいただいた。検討委員会の提言を踏まえ，今後は維持管理を基本とし，必要最小限の範囲での防災対策を図ることとしており，世界自然遺産登録地にふさわしい道路整備に努めることとしている。

町道については，主な整備路線として，１級町道安房中学校線，その他町道中町女川線，その他町道荒川線等がある。集落間や県道への連絡等生活に密接した道路としての整備を進め，隘路区間の解消を図っ

ている。

道路現況（平成28年度末）　（単位：m，％）

区　　分	実延長Ａ	規格改良済延長Ｂ	うち5.5m以上Ｃ	改良率B/A	5.5m以上改良率C/A	舗装延長Ｄ	舗装率Ｄ／Ａ
主要地方道	95,693	86,316	81,254	90.2	84.9	95,693	100.0
一般県道	25,984	20,289	17,009	78.0	65.4	25,984	100.0
県道計	121,677	106,605	98,263	87.6	80.7	121,677	100.0
市町村道	249,778	206,962	17,235	82.8	6.9	216,493	86.6
道路計	371,455	313,567	115,498	84.4	31.0	338,170	91.0

出典：平成29年度道路現況調書（平成29年４月１日現在）

イ　街路

良好・快適な都市環境を確保するため，都市の骨格をなす基幹施設である街路の整備に努めてきた結果，平成28年度末で，整備率が98.6％となっている。

ウ　港湾

本地域の港湾は，屋久島に県管理港湾の宮之浦港，安房港，栗生港，上屋久元浦港の４港と，町管理港湾の楠川港，中間港等８港，また，口永良部島に町管理港湾の湯向港と岩屋泊港の２港がある。

宮之浦港は，屋久島の玄関港として昭和32年度から改修事業を実施し，大型化する定期船，貨物船の接岸する岸壁等が完成したが，世界自然遺産登録後，特に増加した観光客や取扱貨物量に対処するため，ふ頭用地の拡幅等の整備を進め，平成18年度に完成し，供用開始している。現在は，港内静穏度向上のため，引き続き防波堤の整備を進めている。

安房港は，古くから屋久島の中心港で昭和28年度から改修事業に着工し，岸壁，浮桟橋，物揚場等が整備された。現在は，港内静穏度向上のため，引き続き防波堤の整備を進めている。

港湾整備状況（地域別）　（単位：m）

島名	港湾名	種別	平成24年度末						平成29年度末					
			岸壁		物揚場			接岸能力及び	岸壁		物揚場			接岸能力及び
		管理者	水深	延長	水深	延長	防波堤	バース数	水深	延長	水深	延長	防波堤	バース数
屋久島	宮之浦	地方県	-7.5	430	－	－		15,000G/T 1B	-7.5	430	－	－		15,000G/T 1B
			-5.5	260	-2.5	50	1,284	5,000D/W 1B	-5.5	260	-2.5	50	1,284	5,000D/W 1B
					-2.0	512		2,000D/W 3B			-2.0	512		2,000D/W 3B
	安房	地方県	-7.5	181	-4.0	389		5,000D/W 1B	-7.5	181	-4.0	389		5,000D/W 1B
			-5.5	170	-2.0	427	1,971	2,000D/W 2B	-5.5	170	-2.0	427	1,971	2,000D/W 2B

（注）物揚場-2.0の数値は，-2.0m以浅

エ　空港

屋久島空港は昭和38年７月に滑走路1,100mで供用開始し，その後，滑走路延長整備がなされ，昭和51年12月に現在の滑走路長である1,500mの滑走路を有する空港として供用を開始した。平成13年からはYS11型機の後継機DASH8-400型機対策として，滑走路等の舗装強度を変更し，平成16年５月に供用を開始した。現在，屋久島～鹿児島に１日６往復，屋久島～大阪に１日１往復，屋久島～福岡に１日１往復が運航されている。

(3) 産業基盤の整備

ア　農業農村整備

本地域は山地が大部分を占めており，耕地が海岸沿いに分散しているが，温暖な気候を生かして，ぽんかん，たんかん等の果樹を中心に，ばれいしょ等の野菜，ドラセナやシンビジュウム等の施設花き，茶等の生産振興が図られている。

畑地帯総合整備事業等によりほ場整備や畑地かんがい等の整備を行っており，生産性の向上と農業経営の安定を図ることとしている。

また，中山間地域総合整備事業により生産基盤及び環境施設等の総合的な整備を行っているほか，農地整備事業（通作・保全）により農道の長寿命化対策を実施している。

農業生産基盤の整備状況　（単位：ha，km，%）

区　分	ほ場整備			農道整備			畑地かんがい			かんがい排水		
	要整備面積	整備済面積	整備率	要整備延長	整備済延長	整備率	要整備面積	整備済面積	整備率	要整備面積	整備済面積	整備率
平成24年度末	500	233	46.5	300	242	80.7	800	505	63.2	180	180	100
平成29年度末	500	233	46.6	300	242	80.7	800	618	77.3	180	180	100

出典：市町村整備水準調査結果（平成30年３月31日現在）

イ　草地開発等

本地域は，気候が温暖で牧草の生育に適し，肉用牛生産が定着している。

平成28～29年度にかけて種子屋久第１地区において，草地畜産基盤整備事業（県事業名：畜産基盤再編総合整備事業）を実施し，草地・飼料畑，畜舎等の造成整備を行い，自給飼料確保を図った。

ウ　造林

本地域の森林面積は48,377haで，約２割が民有林，約８割が国有林である。

民有林については，スギ・ヒノキを主体とした人工林が約30%，広葉樹を主体とした天然林が約58%を占める。

これまで造成された人工林については，下刈・除間伐等保育を中心に施業が実施され，また，広葉樹を主体とした天然林については，育成複層林整備（複層林改良等）を実施し，地域内森林の水源かん養，土砂流出防止等の機能の向上が図られた。

エ　林道

本地域の林道は，多面的機能を有する森林の適切な整備及び保全を図り，効率的かつ安定的林業経営を確立するために必要であり，地域住民の通行や物資の運搬，森林へのアクセス確保など生活環境の改善を図るうえでも重要である。

このため，森林基幹道屋久島南部線や森林管理道屋久島北部線を2,485m開設するなど，計画的に林道網を整備した。

当地域における林道の整備状況は，平成29年度末で開設延長88,906m，林道密度8.8m/haとなった。

オ　漁港

屋久島周辺海域は，トビウオ，サバ，カツオ等の好漁場であり，漁港及び関連施設等との整備と相まって，近年，沖合漁場へ進出する5トン以上の漁船も増加している。

漁港については，４種漁港として一湊漁港及び口永良部漁港があり，このほか栗生漁港等の町管理の１種漁港が６港ある。

口永良部漁港は，沿岸漁業の避難港及び定期船寄港港として利用されており，平成26年度までに漁船や

定期船における係留時の安全性向上を図る防波堤の整備を完了し，平成28年度に港内への漂砂流入を防ぐ防砂堤の整備を行った。

漁港施設の老朽化とともに，更新を必要とする施設が増加していることから，平成26年度から口永良部漁港ほか２漁港で防波堤や泊地等の保全工事を行っており，施設の長寿命化対策を推進している。

口永良部漁港と一湊漁港では，今後，想定される大規模地震後に漁港機能の早期復旧を図るため，漁港施設の地震・津波に対する安定性を照査する機能診断を行い，その結果に基づく耐震化工事等を推進していく必要がある。

主要漁港の整備状況　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　（単位：m，㎡）

漁港名	管理	平成24年度末				平成29年度末			
		けい留施設		泊地	防波堤	けい留施設		泊地	防波堤
		水深	延長			水深	延長		
志戸子	上屋久町	-1.5 -2.0 -2.5	104.5 50 120	17,901	446.8	-1.5 -2.0 -2.5	104.5 50 120	17,901	501.8
小瀬田	〃	-1.5	47	2,635	226.1	-1.5	47	2,635	226.1
吉田	〃	-1.5	18	1,977	220.0	-1.5	18	1,977	220.0
口永良部	県	-0.5 -2.0	48.3 150	5,065	858.9	-0.5 -2.0	48.3 197.6	30,600	855.9
一湊	〃	-2.0 -4.0	505 90	19,110	455	-2.0 -4.0	505 90	29,900	455
麦生	屋久町	-2.0	125	8,290	538.6	-2.0	125	8,290	538.6
原	〃	-2.0 -3.0	115 40	6,920	512.5	-2.0 -3.0	115 40	6,920	512.5
栗生	〃	-2.0	475	37,806	630	-2.0	475	37,806	660

カ　漁場

本地域は黒潮の影響とその海底形状から回遊性魚類や瀬物類の他，イセエビ等の根付資源等，比較的高級魚を対象とした漁船漁業が古くから営まれている。しかし，近年は，資源の減少等で漁家経営は厳しい状況が継続している。

このため，水産資源や漁獲量の維持・増大を図るため，２箇所に合計15,044空㎥の魚礁を設置するとともに，カツオやマグロなど回遊性魚類を対象とする浮魚礁１基を整備した。

(4) 生活環境施設の整備

ア　簡易水道

本地域では，屋久島町南部地区の水源枯渇及び水質悪化に対応するため，平成23年度から継続して水源新設や浄水施設などの整備を行っている。

また，西部地区は，平成28年度から29年度にかけて浄水施設の老朽化に伴う施設の更新を行った。

イ　公園

これまで，若宮公園，安房墓園の整備につとめ，平成９年度から屋久島町（旧屋久町）の屋久島町健康の森公園の整備促進に努めてきたところ平成24年度に完成した。

なお，屋久島地域全体の１人当たりの公園面積は，平成23年度末の27.4㎡／人から平成28年度末の30.6㎡／人となっている。

(5) 離島振興事業による投資実績（一括計上事業）（平成25～29年度）　（単位：千円）

区　分	事業費	国　費	県　費	市町村費	その他
砂　防	741,395	366,001	375,394		
治　山	481,276	248,488	232,788		
漁港海岸	10,032	5,338	4,694		
道　路	1,989,701	1,407,180	521,258	61,263	
港　湾	2,802,593	2,015,840	723,333	63,420	
空　港	428,086	371,436	56,650		
水産基盤整備	2,000,048	1,537,691	400,885	61,472	
農業農村整備	1,406,283	812,616	347,530	244,083	2,054
造　林	1,150,434	345,131	169,542		
林　道	1,155,890	553,900	601,990		635,761
廃棄物処理	145,712	66,119	33,058	46,535	
簡易水道	566,688	283,344		283,344	
住　宅	55,451	19,820		35,631	
合　計	12,933,589	8,032,904	3,467,122	795,748	637,815

(6) 特定離島ふるさとおこし推進事業

本地域における特定離島ふるさとおこし推進事業については，口永良部島が対象地域となっている。事業の実施状況は，火山対策施設整備，防災情報施設整備，定住促進住宅整備等の生活基盤の整備8件，南海ひょうたん島留学（離島留学）のみんなの参加・島づくり対策4件となっている。

実績額は，次のとおりである。

特定離島ふるさとおこし推進事業による実績額（平成25～29年度）　（単位：千円）

区　分	事業費	県　費	市町村費	その他
産業の振興	58,600	46,880	11,720	0
生活基盤の整備	88,881	70,891	17,990	0
みんなの参加･島づくり対策	6,930	4,850	2,080	0
合　計	154,411	122,621	31,790	0